

# 表面からの続きのご案内

## ご利用にあたってのおしらせ

- ・体調不良(発熱・嘔吐・下痢)の方は、利用できません。  
(同居の家族の場合も同様です。)
- ・休園、学級閉鎖の場合はご遠慮ください。
- ・支援センター利用の際は、玄関にて手の消毒をお願いします。
- ・水分補給用の飲み物を持参することはOKですが、ジュース類は禁止です。
- ・電話での問い合わせは9:00～16:30をお願いします。
- ・各種の申し込みは9:30～14:30です。



## ここの集相談会

鴻巣市の家庭児童相談員の方が、下記の時間に日頃の子育ての不安や悩み、心配事等の相談をお受けします。お子さんを遊ばせながら相談できますので、気軽に参加して下さい。

7月1日(月)10:00～

## どろんこ・水遊びについて

暑さが本格的になってくると支援センターの園庭でどろんこ遊びや水遊びを楽しむ姿が見かけられます。夏にしかできない遊びを暑さに配慮しながら楽しむことはOKですが、楽しんだ後のお片付けをお願いします。シャワーの利用も大丈夫ですが、着替え、タオル等はお貸しできませんので各自用意をして来てください。



## 巡回指導・相談

専門の方が運動面や心理面の発達相談をしてくれます。

7月 18日(木) 10:15～(運動)

7月 19日(金) 9:30～(心理)



## 応急処置講座をおえて



6月19日(水)に参加者15組(今年度はママだけでなくパパも参加してくれました。)で大盛況の中、広域消防本部の救急隊員の方に来ていただき、救急法の講習会を行いました。

AED・お人形に触れて、心肺蘇生法・誤飲時の対処法を体験しました。

その他、参加者の方からたくさんの質問が出て、いろいろと教えていただきました。



## 参加した方からの感想です。

- ・子どもを産んでから小さなことで不安になり応急処置を知りたいと思っていたので、少しでも知れたことで不安が小さくなりました。参加して良かったです。
- ・小児救命講習を受ける機会がなく探していたので本日、参加出来て良かったです。
- ・AED、人形を使って実際の手技が出来たのも良く、また、他の方の実演を見ることができ、理解が深まりました。乳児と幼児では手の圧力のかけ方が違うことを知った。実際に起きてほしくないが起きた時に実践できるかどうか不安ですが知らないことには何も始まらないので参加できてよかったです。
- ・以前にも講習を受けたことはあったが全く覚えていないので本日、参加できてよかったです。忘れてしまうこともあると思うので、定期的に講習会に参加したいと思います。
- ・子どもの体調不良はいつ起こるかかわからないので、急に・・・なった時に実践したいと思いました。
- ・とても分かりやすく説明していただけたので勉強になりました。
- ・2班に分かれて少人数で質問もしやすい雰囲気ので聞きたいことが聞けて良かった。

## みなさんからの質問

Q、頭を打った時の対処法・受診するとしたら何科？

A、まず、意識はあるか？ 嘔吐していないか？ 出血していないか・出血量は？の確認

意識がない場合、そのままの状態では救急車を要請する。

意識がある場合は打撲箇所を冷やす。出血している場合は止血。大量の場合は救急車を要請受診する時は小児科と脳外科がある病院が良いでしょう。(残念ながら鴻巣市にはありません。)

24時間は安静にして様子を見ましょう。(顔色、機嫌、体調)

保育園や幼稚園に登園しないほうが良いかもしれません。

Q、誤飲してしまい息が出来なくなった時は？

A、背中を強めに叩く

指をいれて取ろうとしない。(指を入れることで飲み込んでしまった物がさらに奥に入ってしまう、取れにくくなってしまうことがあるため)

Q、熱性けいれんになったときは？

A、けいれんを起こしている時間を測っておく。(病院を受診したときに聞かれる。)

吐いた時は吐いた物が詰まる場合があるので、からだを横にする。

5分以上けいれんが続いた場合は救急車を要請する。けいれんがおさまったら受診はしたほうが良い。

Q、休日や夜間に体調を崩したときは？

A、時間外や休日等の場合は#8000に電話すると、応急処置の方法を教えてくれたり、受診してくれる病院を教えてください。但し埼玉県全域から連絡が入るので電話がつながりにくい場合もあります。

